

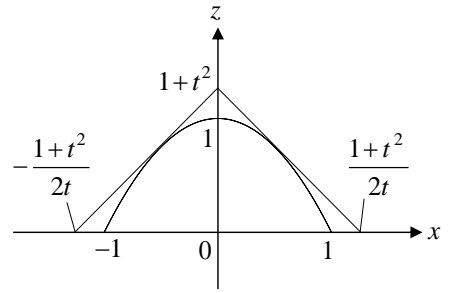
(1)

$xz$  平面における断面を考える。

$z=1-x^2$  上の点  $(t, 1-t^2)$  ( $y=0$ ) における接線の式は

$$z = -2t(x-t) + 1 - t^2 = -2tx + 1 + t^2$$

これと  $x$  軸、 $z$  軸との交点は、それぞれ  $\left(\frac{1+t^2}{2t}, 0\right)$ ,  $(0, 1+t^2)$  である。



対称性より、題意の立体は、底面が一辺  $\frac{1+t^2}{t}$  の正方形、高さ  $1+t^2$  の四角錐である。

$$\therefore V(t) = \frac{1}{3} \left( \frac{1+t^2}{t} \right)^2 (1+t^2) = \frac{(1+t^2)^3}{3t^2} \dots\dots (\text{答})$$

(2)

$$V'(t) = \frac{3(1+t^2)^2 \cdot 2t \cdot t^2 - (1+t^2)^3 \cdot 2t}{3t^4} = \frac{2(1+t^2)^2 \{3t^2 - (1+t^2)\}}{3t^3} = \frac{2(1+t^2)^2 (2t^2 - 1)}{3t^3}$$

増減は右の通りで、 $t = \frac{1}{\sqrt{2}}$  のとき極小である。

$$V\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\right) = \frac{2}{3} \left(\frac{3}{2}\right)^3 = \frac{9}{4}$$

最小値は  $\frac{9}{4} \left(t = \frac{1}{\sqrt{2}}\right) \dots\dots (\text{答})$

$t$	0	...	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	...	1
$f'(t)$		-	0	+	
$f(t)$		↘		↗	

※  $V(t)$  は、 $t^2$  の関数と考えてもよい。